

令和4年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市港南区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

港南区福祉保健活動拠点の掲示板やパンフレットなどの配架について、週1回のメンテナンスを設定し利用者へ最新の情報を提供した。
 バインダーに案内を添付したり、館内掲示で事業や講座の案内を必要な方へ届けたりといった工夫をした。

(2)拠点の利用促進に関すること

Wi-Fiの使用について、貸館時にお渡しするバインダーに使用方法の案内を添付し利用を促進した。会議や利用団体の講座などをオンラインで開催できるようになったり、ラジカセを使用せず音楽を聞けるようになったり、Wi-Fiを使用する団体が増えた。

平日	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	717	568	525	80.2	76.5	56.8
多目的研修室	537	425	366	94.2	89.7	76.1
点字製作室	234	252	125	84.8	90.5	49.8
録音室	96	75	47	37.0	30.0	18.9
対面朗読室	259	259	150	87.2	88.5	54.3

土日祝	実績（利用件数）			実績（利用率）		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
団体交流室	239	216	27	57.0	56.9	18.0
多目的研修室	217	164	7	79.6	84.9	14.0
点字製作室	91	93	4	76.4	78.1	6.0
録音室	8	25	0	7.0	20.1	0.0
対面朗読室	59	66	3	45.7	55.7	6.0

(3)拠点のサービスの向上に関すること

経年劣化による備品の故障や不備が多く見られるため、毎日各部屋の点検を行った。利用頻度が高い机とイスについては必ずチェックするよう、拠点担当職員で徹底するとともに、利用団体へは利用中に不具合を発見した場合、報告していただくよう周知した。コロナウイルス感染症予防のため、検温と手指消毒、換気の実施について来館時に声かけを行った。

(4)利用調整会議等の開催

12月6日に開催し、第1部を近隣施設の理解として「生活支援センター」職員より精神障害について講演を行った。第2部では拠点の利用の仕方について伝えた。最後に利用団体の意見や質問について回答した。

利用調整会議で配布したいチラシがあれば持参するよう利用団体へ周知し、希望団体のチラシを配布した。

開催実績	1回
参加団体数	39団体

2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

- ・ボランティアセンターへの依頼を地域支援に活かすことが出来るよう、地区担当職員と情報共有をしながら進めた。
- ・区のボランティアセンターへの依頼でも、一人暮らしで地域との繋がり薄い場合は地区担当と相談し、より身近な見守りや今後の関係性を作りやすい福祉ネットワークに連絡調整し繋いだ。
- ・ボランティア連絡会の役員会を開催し、議題の確認や参加団体向けの講座を企画した。役員の高齢化もあり、PCでの資料作成や会の進行や記録等では一部支援を行った。
- ・ボランティア連絡会では情報交換の時間を設けることで各グループの活動内容を共有した。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

- ・ボランティア活動情報を毎月ホームページに掲載した。
 - ・ボランティア連絡会が発行している「ボランティア連絡会だより8月号」の発行およびボランティア登録者への郵送を支援した。
 - ・ボランティアセンター通信については地域でボランティア活動している学校や団体取材し、タウンニュース2月号に掲載した。
 - ・学校のボランティア部や区民活動支援センターでの講座、ボランティア団体との共催の講座の際に訪問し、ボランティアセンターの周知を行った。
- また、依頼のあった施設にはコーディネートの前に訪問し、職員の方と話し合いの場を設け情報提供した。

(3) ボランティアに関する相談、紹介

ボランティアに関するニーズや、ボランティア活動希望者の相談を受け、活動の場の紹介とボランティアを必要とする方へのボランティア紹介を行った。

登録人数	個人	新規	28
		累計	212
	団体	新規	4
		累計	152
相談件数			90
依頼件数			90
紹介人数			237
調整数			897

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

港南区におけるボランティア活動の活性化、ボランティア団体の支援を目的としたボランティア講座を開催した。(①入門手話講座②視覚障がい者の誘導入門講座③指で読む絵本作り講座④子育て応援ボランティア講座の4講座)

・講座の中でボランティアセンターの紹介や他のボランティアグループの紹介の時間を設け、活動が広がるよう周知した。

・講座案内の申込方法を従来の電話、FAXに加え二次元コードで簡単に申込出来るようにした。また、周知についてもチラシの配布だけでなく、LINEやHPでの周知を行った。

・ボランティア連絡会では参加団体向けの講座を実施した。(再掲)

3 他の関連組織とのネットワーク

(1) 関連組織及び地域との連携

・ボランティアセンターだけでは対応が難しいケース(移動情報センターの小学生の通学支援)について、地域の福祉ネットワークと調整し、支援に繋げるなど地区担当職員と情報共有し対応方法の検討を行った。

(2) 地域の福祉保健課題への理解と協力

ボランティア連絡会等で各団体が把握している個別の福祉課題の情報共有を行うことで、地域への理解と支援、協力を仰いだ。

・近隣での見守り機能も必要であると思われるケースについては、福祉ネットワークに繋ぎ、より身近な地域での継続的な支援を進めた。また、随時地区担当職員と連携および情報共有を実施した。

4 その他

(1)職員体制、育成

月1回のミーティングは勤務中の気づきなどを全員で共有し、課題の把握や対応について話し合い、改善に取り組んだ。日常の業務についても確認できる場とした。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

【貸館業務】

平日・土曜（祝祭日を除く） 9：00～21：00

日曜・祝祭日 9：00～17：00

【ボランティアセンター業務】

平日・土曜（祝祭日を除く） 9：00～17：00

休館日 年末年始（12月29日～1月3日） 施設点検日など

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

【空調機器関係保守業務】

GHP 室外機点検・GHP 室内機点検・GHP 室内機フィルタ清掃・全熱交換器点検・全熱交換機フィルタ清掃

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【給排水設備関係保守業務】

加圧給水ポンプ（ブースターポンプ点検）

【害虫駆除業務】

害虫駆除

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【自動ドア保守業務】

1階正面入り口外自動ドア

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【エレベーター保守業務】

エレベーター（1階～3階）

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

【消防用設備点検業務】

消防用設備・機器

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

<清掃業務について>

【長尺塩ビシート部】

床面除塵・洗剤塗布・ポリッシャー洗浄・汚水バキューム・モップ拭き・ワックス塗布・机吹き上げ

【タイルカーペット部】

床面除塵・洗剤塗布（ポリッシャー）・汚水バキューム・モップ拭き

【ガラス部】

洗浄水塗布・水除去（ウィンドスクイジー）・拭き取り

【トイレ部】

除塵・便器清掃・壁面清掃・吹き上げ・ごみ処理

<警備業務について>

防犯サービス・火災監視サービス。非常通報サービス

複合施設につき、社会福祉法人そよかぜの丘が契約し、本会と経費按分。

防犯・監視カメラシステムをセコムと契約。

イ 苦情受付体制について

拠点内ご意見箱の設置

窓口満足度調査の実施（年1回）

拠点利用調整会議にて窓口満足度調査の結果を報告及び掲示板に掲示

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

マニュアル整備について検討した。

【防火管理組織】

防火管理者・防火責任者・火元責任者（事務室・福祉保健活動拠点）

【自衛消防組織】

隊長・副隊長・通報連絡班・初期消火班・避難誘導班・応急救護班

災害時は周辺5施設で連携の上、館内利用者の避難にあたる。

（年2回防災訓練を実施）

エ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報保護のマニュアルの設置をしました。

職員会議での取り組み状況確認及び研修を行った。

オ 環境への配慮及び取組について

横浜市ごみゼロルート回収に基づく分別を実施した。

エネルギー管理標準に基づく温度管理等を行った。

令和4年度 横浜市港南区福祉保健活動拠点 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,528,000		17,528,000	17,519,291	8,709	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)	0		0		0	
雑入	150,000	0	150,000	386,453	236,453	
印刷代	150,000		150,000	205,485	55,485	
自動販売機手数料			0	26,198	26,198	自動販売機電気代
その他			0	0	0	
その他	150,000		150,000	154,770	4,770	目的外使用料 ルート回収 コピー機・印刷機
収入合計	17,828,000	0	17,828,000	17,905,744	77,744	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,668,000	0	9,668,000	8,651,477	1,016,523	
給与・賃金	9,668,000		9,668,000	7,547,449	2,120,551	
社会保険料			0	242,201	△ 242,201	
通勤手当			0	241,140	△ 241,140	
健康診断費			0	9,485	△ 9,485	
勤労者福祉共済掛金			0	611,202	△ 611,202	
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
事務費	1,672,000	0	1,672,000	2,864,260	△ 1,192,260	
旅費			0	0	0	
消耗品費	482,000		482,000	357,341	124,659	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	218,000		218,000	260,050	△ 42,050	
通信費	276,000		276,000	364,561	△ 88,561	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	7,610	2,390	
職員等研修費			0	0	0	
振込手数料	33,000		33,000	52,990	△ 19,990	
リース料	653,000		653,000	980,608	△ 327,608	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	841,100	△ 841,100	租税公課税、各種システム分担金
事業費	0	0	0	250,057	△ 250,057	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)			0	250,057	△ 250,057	
管理費	4,180,943	0	4,180,943	5,937,110	△ 1,756,167	
光熱水費	2,034,000		2,034,000	2,444,167	△ 410,167	
清掃費	997,260		997,260	989,483	7,777	
修繕費	200,000		200,000	350,350	△ 150,350	
機械警備費	254,676		254,676	260,656	△ 5,980	
設備保全費	695,007	0	695,007	1,476,978	△ 781,971	
空調衛生設備保守	128,083		128,083	128,083	0	
消防設備保守	36,002		36,002	36,002	0	
電気設備保守	106,794		106,794	61,862	44,932	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	424,128		424,128	1,251,031	△ 826,903	
共益費			0	0	0	
その他			0	415,476	△ 415,476	ごみルート回収事務所分担金
公租公課	1,129,000	0	1,129,000	0	1,129,000	
事業所税			0	0	0	
消費税	1,129,000		1,129,000	0	1,129,000	事務費その他へ計上
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他	1,178,057		1,178,057	202,840	975,217	ICT
支出合計	17,828,000	0	17,828,000	17,905,744	△ 77,744	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	0	0	0	250,057	△ 250,057	
自主事業 収支	0	0	0	△ 250,057	250,057	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	26,198	△ 26,198	目的外使用許可(自販機)による手数料収入(電気代)
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	26,198	△ 26,198	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。